

新生翠病院 看護師ラダー別 評価表

ラダーⅠ		基本的な看護技術や手順をふまえ助言を得ながら看護実践ができる		
項目	ニーズをとらえる力	ケアする力	協働する力	意思決定を支える力
レベル毎の目標	助言を得て患者や状況（場）ニーズをとらえる	助言を得ながら、安全な看護を実践する	関係者と情報共有できる	患者や周囲の人々の意向を知る
行動目標	☐ 患者・家族に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ☐ ケアの受け手の状況から緊急度を捉えられる	☐ 看護手順に沿ったケアができる ☐ 客観的データや身体上の変化を観察し報告できる ☐ 看護実践を記録できる	☐ 助言を受けながら患者を看護していくために必要な情報がなにかを考え、スタッフに提示できる ☐ ケアしていくために必要な情報を収集できる ☐ 報告・連絡・相談ができる	☐ 助言を受けながら患者や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる
実践例	☐ 助言を受けながら、本人及び家族よりアナムネ聴取を行い必要な情報収集が出来る ☐ 本人及び家族より治療についての考え方の情報を得ることが出来る ☐ 基本的なフィジカルアセスメントが出来る ☐ 助言を受けながら優先度を捉えることが出来る ☐ 生命の危機に関わる異常を発見、報告できる ☐ 助言を受けながらその人らしく過ごせる支援方法が分かる	☐ 患者の状態に合わせて助言を受けながら、手順に沿ったケアを説明し実施できる。 ☐ 基本的な生活行動の援助を行う。重症患者や医療依存度の高い患者についての指導を受けて実践する。 ☐ 新人看護師教育プログラムにおける看護技術についての到達目標が達成できる。 ☐ 急変時には、流れを把握し、指示を受けながらメモを取る、バイタルサインを確認するなどできることを探して実践できる。	☐ 看護チームの一員であることを理解し、日々の患者へのケアを、他の看護師と協働して行うことが出来る。 ☐ 自らのもつ患者情報を他の看護師に報告することが出来る ☐ 自己にて判断できない事や経験のない処置やケアについて相談できる ☐ 多職種の種類、役割を理解する事が出来る。 ☐ 助言を得ながら、多職種に情報共有できる ☐ カンファレンス等に参加し、助言を得ながら自らのもつ情報を共有することが出来る。 ☐ 助言を得ながら看護情報提供書を書くことが出来る ☐ 入退院支援マニュアルを理解する	☐ 助言を得ながら患者や家族の思いや考え、希望を知ることが出来る。 ☐ 患者の不安を推察し、思いを聴くことに努める必要があると気づくことが出来る。 ☐ 頻回に訪室し、患者、または家族に寄り添うことが出来る。 ☐ 患者や家族の意向をリーダー又は上司に伝えることが出来る ☐ 意思決定支援ガイドライン（当院の）を理解する

ラダーⅡ		標準的な看護計画に基づき自立して看護実践をする		
項目	ニーズをとらえる力	ケアする力	協働する力	意思決定を支える力
レベル毎の目標	患者や状況（場）ニーズを自らとらえる	自立して患者や状況（場）に応じた看護を実践する	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	患者や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる
行動目標	☐ 患者・家族に身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる。 ☐ 情報に基づいて課題をとらえ、看護問題を明らかにできる ☐ 関連する多職種を理解し、情報収集をすることができる	☐ 患者・家族の個性を考慮し、看護計画に基づき安全なケアを実践できる ☐ 客観的データや身体上の変化をとらえ、理論に基づいて実践でき評価できる ☐ ケアの実践に必要な情報を得ることができる ☐ 未経験の看護技術を実践するとき、資料や人的資源を活用できる	☐ 患者を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解できる ☐ それぞれの関係者と積極的にコミュニケーションを取ることができる ☐ 関係者と密にコミュニケーションをとることが出来る ☐ 看護の展開に必要な関係者を特定できる ☐ 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	☐ 患者や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる ☐ 確認したい思いや考え、希望をケアに関連付けることができる ☐ 看護倫理をふまえ、問題に対し、相談し意見を述べることが出来る
実践例	☐ 本人及び家族よりアナムネ聴取を行い情報収集ができる ☐ 関連する多職種を理解し、不足している情報を他のスタッフより得ることができる ☐ 患者の全体像を把握し、標準的な看護計画を立てることができる ☐ 定期的に看護計画の評価、修正ができる ☐ 患者の状態に合わせてVS等の観察をし、フィジカルアセスメントが出来る ☐ 疾患や障害による日常生活の変化や留意点を挙げる ☐ 患者の言動や行動などから、疾患や生活に対する価値観などを捉え、情報共有することができる	☐ ケアの受け手の個性を考慮しつつ、標準的な看護計画に基づき、ケアを実践できる ☐ ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる ☐ ケアの受け手の状況に応じた援助ができる ☐ 感染の標準予防策が実施できる ☐ インシデント・アクシデントレポートを作成し対策を記録・報告出来る ☐ 顕在的なインシデントに胎児対策が出来、潜在的なインシデントに対し助言を受けながら対策が出来る ☐ 単独投与の薬剤が分かり実践できる ☐ 血行動態や呼吸状態に影響を及ぼす薬剤が分かり指示通りに与薬できる ☐ 麻薬の受け取り、管理方法、投与方法が分かり実践できる ☐ BLSの実践ができる	☐ 患者に関わる多職種の役割を理解し、必要に応じて多職種の協力の必要性に気づく。 ☐ 患者の疾患の現状、検査結果、治療方針を担当医に確認できる ☐ 患者の訴えや受け止めている思いを医師に伝えることができる ☐ 看護チームに情報共有し、看護の方針を確認できる ☐ カンファレンス等に参加し、積極的に発言する事で、患者の思いや希望等の必要な情報を関係者と共有することができる ☐ 看護情報提供書に多職種が必要な情報を記入することができる ☐ 退院先の条件を理解することが出来る ☐ 入退院支援マニュアルを理解したうえで患者に必要な多職種や看護チームと情報共有する方法が理解できる	☐ 患者や家族の思いや考え、希望を意図的に確認することができる ☐ 希望を聞いた際にはその希望の背景や理由についても確認する事ができる ☐ 医師の説明に対する患者や家族の認識と医療者の認識とのずれに気づくことができ、追加の説明等の調整が出来る ☐ 意思確認書の内容を理解し、患者や家族の意向をくみ取ることができ、ケアに反映することが出来る ☐ 看護倫理観が理解できている

ラダーⅢ		個別的な看護を実践する		
項目	ニーズをとらえる力	ケアする力	協働する力	意思決定を支える力
レベル毎の目標	患者や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる	患者や状況（場）の特性を踏まえた看護を実践する	患者や家族及びその関係者と多職種連携できる	患者や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる
行動目標	☐ 患者・家族に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から個性性をふまえて、必要な情報収集ができる ☐ 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	☐ 患者の個性に合わせてケアを実践できる ☐ 患者の状態を把握し、顕在的・潜在的ニーズを察知してケアの方法に工夫（対策）することができる ☐ メンバーに理論に基づいたケアの指導ができる	☐ 患者・家族の個別的なニーズに対応するために、関係者と協力し合いながら、多職種と意見交換ができる ☐ 現在の状況をとらえ必要な職種に協力を求めることができる	☐ 患者や周囲の人々の意思決定に必要な情報を共有できる ☐ 患者や周囲の人々の意向の違いが理解できる ☐ 患者や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる
実践例	☐ 本人及び家族より個性性をふまえたアナムネ聴取ができ、必要な情報収集ができる ☐ 得られた情報から優先度を考慮した看護計画を立案できる ☐ タイムリーに看護計画の評価変更・修正ができる ☐ 今後の方向性をふまえた計画の立案ができる ☐ 観察する意味と観察項目の関連を理解し異常時に対処ができる	☐ ケアの受け手の個性性に合わせて、適切なケアを実践できる ☐ ケアの受け手のニーズを察知しケアの方法に工夫ができる ☐ ケアの受け手の個性性を捉え、看護実践に反映できる	☐ 個別的なニーズに対応するため、関係者と協力し、多職種連携を進めることができる ☐ 患者の状況をとらえ、必要な職種が分かり、協力を求めることができる ☐ 入院時から退院後の生活の場所について、多職種に提案する等の調整を行うことができる ☐ 受け持ちの看護師に積極的に情報共有できる ☐ 定期的なカンファレンスだけでなく、必要なタイミングを見極めてチームカンファレンス等を開催することができる ☐ 退院先の条件を理解し、条件に合った計画を作成し、実施、指導することが出来る ☐ 看護情報提供書の書き方に指導ができる ☐ 入退院支援マニュアルを理解したうえで、他スタッフに指導ができる	☐ 患者や家族の意思決定に必要な情報を提供することができる ☐ 患者と家族にとっての価値観、生き方、意向を引き出し、それぞれの気持ちを聞くことができる ☐ 意思決定支援ガイドを理解したうえで、患者や家族の思いを考え、希望をケアに関連づけ、ケアに反映し、他スタッフへ指導することができる ☐ 患者と家族の意見が異なる場合においても、両者の思いを理解し、現在ある状況を他職種に代弁することができる ☐ 医師の説明に対する患者や家族の認識と医療者の認識とのずれに気づき、追加の説明を行い、調整することができる